

議 平生町
議会だより

第 116 号

2010 年 7 月 23 日

発行 平生町議会
 〒742-1195
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
 発行責任者 福田 洋明
 編集 議会広報広聴調査特別委員会



そば打ち体験をする中学生たち

6 月
議会報告
いっぱん質問

定例会	2ページ
委員会審査報告	3ページ
いっぱん質問	4ページ
陳情	9ページ
委員会研修報告	10ページ

原電計画の対応に議論が集中



第3回定例会の様子

平成22年第3回平生町議会定例会が6月17日から25日までの9日間の日程で開かれました。提出議案は、補正予算2件、条例改正4件、事件1件、専決処分事項の承認2件、人事同意1件、報告3件の計13件が上程されました。一般質問では、6人の議員が質問にたち、原子力発電所建設計画に対する町長の対応について、議論が集中しました。

3月定例会以降の町政の重要課題の進捗状況や経過報告で、町長は、8月29日平生町で実施される県の総合防災訓練について、「安全・安心のまちづくり」の推進と、平生町の存在感を県下へ示す絶好の機会として、全町民のより一層の協力を求めています。

第四次総合計画は、7月から8月に住民懇談会を開催、10月頃に意見公募を行い、今年中に議決、策定の予定を改めて表明しました。本年度策定の地域福祉計画については各地域の課題を反映し、かつ総合計画との整合性を十分図った計画としていく考えを示しました。

工事請負契約の変更

平成21年度佐賀漁港漁村再生交付金事業に伴う浜田沖防波堤整備工事請負契約額の変更を承認しました。

入札剰余金を消波ブロック製作に充当するものです。

約614万円の追加により、工事請負金額は1億992万円となります。

太陽光補助費を増額補正



補助申請の多い太陽光発電

太陽光発電システム設置費を129万円増額補正しました。この事業は風力発電の固定資産税の一部を原資として、町が国の補助金とともに上乗せする独自の施策です。4月、5月の実績数が11件と、大幅に予想を超えたため、補正するものです。

平生中学校 空調設備費 追加補正



平生中学校キュービクル（受電設備）

6月議会最終日の25日、平生中学校空調設備に係る受電設備工事費287万円が追加提案されました。現状の設備では受電

容量に対応できないためです。緊急かつ突発事業とはいえ設計当初の段階で十分な精査が必要です。

常任委員会審査報告

産業文教常任委員会



追加製作される消波ブロック

浜田沖防波堤整備工事の請負契約額の変更について、消波ブロックの製作個数を154個追加するとの説明がありました。付託議案は全会一致で承認しました。

総務厚生常任委員会



エコカー

太陽光発電システム補助金は、昨年の国の補助申請件数を参考に、

本年度当初予算組みをしたが、CO2削減の目標数値などは、今後策定する地球温暖化防止計画のなかで、年間数値目標を決めていきたいとの説明がありました。また、事業交付要綱について、件数制限を明記していないので他の例を参考に検討していきたいとの説明がありました。付託議案は全会一致で承認しました。



大井哲也 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 第四次総合計画について

答 12月議会に上程を目標に作業中



総合計画審議会

質

新年度もスタートして既に2カ月が経過した。

現在、来年度からスタートする平生町のまちづくりの指針となる第四次総合計画の策定に取り組んでいるが、進捗状況と具体的な今後のスケジュールについて尋ねる。

答 町長

現在までに、第三次総合計画の検証、アンケート調査等を実施してきた。現在は、これから取り組むべき事務事業の積み上げ作業に入っている。

副町長をトップにした総合計画策定委員会で作業中だが、今後、総合計画審議会を設置して、計画案を審議いただき、12月には議会に上程したい。

質 町長の政治姿勢について

答 町民の支持が得られるなら続投を...

質

① これまで総合計画づくりに当たっては、町長の理念を含めて指導性を発揮して取り組むと言われているが、指導性、リーダーシップをどう発揮しているか。

② 総合計画策定の途中で、町長の3期目の任期が到来する。引き続き町政を担うのか町民の関心も高まっている。山田町長の思いを聞く。

答 町長

① 策定委員会からは逐次報告を受け、これにしっかり指示をしながら町の独自性を出せるよう取り組んでいく。

② ここ数年財政問題を含め、大変厳しい状況に直面してきた。この間、身を切られるような思いで行財政改革を断行してきた。最悪期を脱したとはいえ、健全化の道はまだ半ばの思いがある。

今後、少子高齢化の進行の中で、町民の支持が得られるなら、より良い町づくりのため続投をして、その責務を全うしたい。





渕上正博 議員

質 原発の問題点をどう考えるか

答 安全性・信頼性が第一優先



建設予定地（上関町田ノ浦）

質

① 原発は運転時、1秒間に7度高い温排水を190トン放出する。

閉鎖的な瀬戸内海では環境に大きな変化が起こる。どう考えるか。

② 中国電力、島根原発で点検漏れが511件見つかった。

ずさんな安全管理で上関に原発を建設されると、町民は毎日危険におびえながらの生活を強いられる。町長の考え方は。

答 町長

上関原発は平成十三年度に環境影響評価が完了し、環境への影響は少ないと国も認めている。

中電は放水温度を連続的に測定し、国も必要に応じて指導を行うとのこと、町としては国の判断に従う。

点検漏れに対する中電の対策は、品質管理、安全意識の向上という企業風土にまで踏み込んで再発防止に努めるとのこと。

町としても安全性、信頼性が大前提で対応していく。

質 風力発電の低周波音被害対策は

答 問題発生時は必要な措置をとる確約

質

全国で風力発電による低周波音被害が社会的問題となっている。

当町でも7基の風車を設置しているが施設付近の住民から不眠、体調不良という苦情が寄せられている。

環境省は低周波音が人の健康に影響があるか、全国調査に乗り出した。

① 当町としても独自に調査したらどうか。
② 町民の安心安全の面から、対策はどう考えているか。

答 町長

「日本風力開発」と連携して行った騒音測定では、騒音規制法の基準以下という結果であった。

ただ個人差もあり、同社も誠意を持って対応すること、町もその仲立ちをしながら解決に努めたい。進出協定書にも、問題が生じた場合は、事業者は必要な措置を講ずるとある。町からの申し入れに対しても同趣旨の確約を得ている。



騒音測定の様子



藤村政嗣 議員

質 地上デジタル放送の移行について問う

答 補助制度を利用した受信対策を推進していく



地デジ難視聴地区の佐合島

質

地デジの認知度も高まり、対応テレビの普及も順調に進んでいる。新たな難視聴地域が町内各地にあるときいていますが、次のことについて問う。

①地デジの難視聴地区についての把握はどうなっているか。

②この地域への今後の対応は。

答 町長

難視聴地区は、町内全域で10地区以上が対象となっている。対応としては、地デジ説明会を、町内9会場で19回開催している。難視聴地区については、総務省と放送事業者の補助制度で受信対策が行なわれる。町としては、各機関と協力しながら地区の実情に合った立場で対策を推進していく。

質 農免農道平生南線の開通について問う

答 補助標識を設置する

質

曾根防地峠く佐賀大田の農免農道（平生南線）が平成22年5月21日から供用開始となった。速度規制や警戒標識は整っているか。施主は県であるが町も建設費を負担している。町が引き取った後の地方交付税の対応はどうなるか。

答 町長

農免道路の速度規制等については、公安委員会での規制は難しい。代替案として、安全速度40キロという補助標識を4基、7月上旬に発注する予定である。地方交付税の対応としては、農道として指定用途があり、すぐには町道認定とはならない。今回の1780mの譲与分に対する交付税額は17万円と試算している。



農免農道平生南線



細田留美子 議員

質 町内の男女共同参画の現状とこれから

答 認識は徐々に浸透している

国は男女共同参画は働く女性のための政策という誤った印象を与えたことを反省し、男性や様々な困難を抱える人々への対応に力を入れるとしている。町内の現状とこれからの取り組みを聞く。

質

少子高齢化の進展、婚姻率の低下や経済のグローバル化によってこれまで女性の問題とされた育児・介護・非正規雇用などが男性の問題ともなった。

答 町長

昨年、第四次総合計画のアンケート調査の中で、男女の役割分担について調査した。男女共同参画への認識は徐々にではあるが浸透している。「男と女連絡協議会」も男性会員が参加しており、裾野が広がることを期待している。目標を具体的に掲げてこれから取り組んでいきたい。



ひろげよう男と女連絡協議会の講演会

質 自治を進めるための条件づくりは

答 基本条例制定へ向けて取り組む



地域福祉座談会

質

国・地方とも財政力の低下ですべての公共サービスを自治体で担うことが困難になった。地域で安心して暮らしていくための基本の施策は自治体が保障した上で、より暮らしやすい地域づくりは住民の手で行うことが求められている。目指すべき新しい平生町の指針となる条例づくりは進んでいるか。

答 町長

まちづくりに対し条例という形で対応する事は大事である。地域活動推進班を中心に、今から新しい組織づくりをし、基本条例の制定に向けた取り組みを行っていく。自治会については、温度差があるが、連合会という母体をつくり、地域協議会的な活動を展開する形も一つの方法だと思っている。



平岡正一 議員

質 原子力発電安全協定の締結は

答 運転開始前には締結したい



中国電力 上関調査事務所

質

上関町で原子力発電所の建設が進められている中で、事業者の不祥事が大きく報道されているが町はどのような対応してきたか、事業者は町にどのような対応をしているか。

最近の状況を見ると原発に起因する事故はなく安定した運転がされているとは思いますが、安全が確立している状況ではない。事業者のあり方は重要と考える。隣接町として事業者と安全協定を締結する必要がある。取り組みはどうか。

答 町長

月に1回程度事業者から、いろんな報告を受けている。

町からは、「原子力発電所という重要施設を動かす使命の重大性を認識し、地域住民の生活と安全の確保を最優先事項として、心して取り組んでほしい。」と伝えている。安全確保情報連絡等に関する協定は、運転開始前には締結したい。

質 中学校通学路の安全対策を求める

答 安全確保に取り組む

質

曾根地域の皆さんから、中学校生徒の通学時の安全を求める声が出されている。

現状を見ると、昭和47年に中学校統合に合わせて整備された通学路が“車優先の道路”に変更されている。

整備された時には道路の1/3の幅が通学用で2/3が車道になっていたが、現在では一部を除いて歩行者などは狭い路側帯を利用するようになってきている。元に戻すのは困難かもしれないが、安全対策は急務と思う。

答 町長

いろんな経緯があつて今の現状になっているが、生徒の安全を確保することが、一番大事なことである。

道路表示、道路標識を含め、教育委員会、警察や他の関係機関とも十分協議しながら、地区全体の生徒の安全確保対策、将来にわたつての安全確保対策について協議をしていきたい。やれることから対応して、安全確保に取り組んでいく。



安全性が優先される通学路



田中 稔 議員

初期対策交付金」はなぜ交付されなかったのか。また「電源立地促進対策交付金」への取り組み状況はどうか。

質 原発関連の交付金・補助金確保への対応は

答 対象となる交付金は確保していく

質

原発関連の交付金・補助金に関して申請の状況について町からの説明がない。

各種交付金・補助金に対する町長の対応方針および申請のための作業の進捗状況、さらに将来の見通しについて聞きたい。

特に「電源立地等

答

町長

「電源立地等初期対策交付金」については、平生町は交付対象ではないので申請をしていない。

「電源立地促進対策交付金」については、県に対し早急に隣接市町を決定するように要請している。

いろんな事業の検討はされており、対象となる交付金については確保していくつもりである。



固定資産評価 審査委員に同意



固定資産評価審査委員会委員に欠員が生じたので、後任として秋森の下柁義彦(しもねよしひこ)氏の選任提案があり、これに同意しました。下柁氏は田布施町での行政経験が長く、地域感覚、固定資産関係にも見識の深い方です。

陳情を採択

全員協議会において採択されました。

① 「活力ある高齢社会」の実現に向けたシルバー人材センターへの支援の要望
提出者 社団法人 山口県シルバー人材センター連合会・柳井広域シルバー人材センター

② 住宅リフォーム助成制度・小規模工事等契約希望者登録制度の創設を求める陳情書
提出者 建設山口・同 熊毛南支部

研修報告

汚泥の減量化対策

産業文教常任委員会

今回の視察目的は、

年々増え続ける佐賀地区浄化センターの汚泥減量化について、鳥栖環境開発センター、日田市バイオマス資源センターを視察研修した。双方とも、技術的には大差はないが、生ゴミ、養豚農家から出る糞尿、農業集落施設の汚泥などをメタン発酵させ、電力を得る設備であり、その後乾燥させ肥料として

いづれも設備投資に問題があり、今回は当面汚泥の減量化を探るため、生ゴミ問題は別に考えるのが良いのではないかと感じた。

佐賀の処理場の汚泥のみでは、メタンの発酵は効率が悪いとの指摘で、減量固体化し肥料もしくは補助燃料とすることが最適ではないかと思われる。



生ゴミ処理工程の説明を受ける
(鳥栖環境開発センター)

身の丈にあつたまちづくり

総務厚生常任委員会

地域振興・環境問題

及びまちづくりの3項目を主テーマに3日間の日程で、北九州市と佐賀県玄海町、大分県豊後高田市を訪問し視察研修を実施した。

北九州市では、北九州市の環境への取り組み、エコタウン事業のこれまでの経緯、今後の取り組み目標の説明を受けた。

玄海町では、玄海原

子力発電所3・4号機の増設に伴う、交付金の活用についての説明を受けた。

豊後高田市では、ふき活性化協議会の取り組み動機及び活動履歴について説明を受けた。

少子高齢化を迎える地域においての行政の役割、また、地域の身の丈に合ったまちづくりは、どうあるべきか参考となった。



太陽光発電パネルの発電能力について説明を受ける
(北九州次世代エネルギーパーク)

議会の動き



(H22・3/10)

H22・6/8

3月10日	第2回定例会
3月18日	議会広報広聴調査特別委員会
3月26日	議会広報広聴調査特別委員会
4月9日	議会広報広聴調査特別委員会
4月16日	総務厚生常任委員会協議会
4月21日	産業文教常任委員会
5月11日	町戦没者追悼式
5月12日	総務厚生常任委員会行政視察
5月24日	産業文教常任委員会行政視察
5月25日	総務厚生常任委員会
6月2日	議会運営委員会
6月8日	議会全員協議会

編集後記

もうすぐ梅雨が明け、暑い夏が来ると思っていた矢先、大雨警報が出され各県では被害が出て大変心配しております。

先日の参議院選挙の結果は、与党民主党の議席が過半数を割り、衆参ねじれ国会運営をしていかなければならなくなりました。消費税の問題等これからの皆さんの問題が山積されている中、早く景気回復し、安定した経済にして頂き将来の若者達につけの回らないようにと念じるところで

7月12日にはサッカーワールドカップの決勝戦が行われ、スペインが世界1位になり世界を沸かせました。チームの華麗なパス回しは、本当に素晴らしい、感動しました。

岩本ひろ子